

○麻布大学 見学会（分析センター）・入試相談会の様子と生徒の感想



2年生 説明会の様子
生命・環境科学部長の川上教授より

2年生 見学会の様子
分析センターを見学させていただきました。



☆見学会・入試相談会に参加した生徒から麻布大学の方へのお礼と感想

3年 S.Eさん

本日は大学見学、学部紹介をしてくださりありがとうございました。

検査に必要な様々な機械を見ることができ、臨床検査技師になりたいという気持ちを再確認できました。私が一番印象に残ったのは、様々な顕微鏡を見させていただいたことです。光学顕微鏡で抗体が働いている様子を、電子顕微鏡で糖尿病患者の糸球体を見させていただきました。大学で学んだ色々な疾病と検査結果が、そのまま国家試験までつながることを実感しました。また、臨床検査技師の職域が拡大しつつある状況に驚きました。チーム医療の重要なポジションとして、臨床検査技師が検査結果を医師や患者さんに説明する能力が必要になると思いました。貴学の特徴である、2年次から研究室に配属できることがとても興味深かったです。研究室で行う実験に対しての考察を話し合い、ディスカッションをする機会は能力の進展になると思いました。

本日はありがとうございました。

臨床検査学科志望の生徒は、
説明会の後、研究室を見学させて
いただきました。





獣医、動物系志望の生徒は、博物館と研究室を見学させていただきました。



3年 Y.Mさん

この度は、お忙しい中研究室見学や博物館見学など様々な体験をさせていただきありがとうございました。博物館見学では、骨格から動物を学ぶという体験が出来ました。縄文柴犬の標本と骨格標本を見比べることが出来ました。犬のしっぽの骨が想像以上に長いと感じました。実際に見ている犬のしっぽは毛が大半を占めていると思っていましたが、骨格標本を見ることで目に見えて理解をすることが出来ました。動物の骨格標本以外にも、肝臓や、胃、ホルマリン漬けなどが展示されていました。博物館見学という体験をあまりしたことがありませんでしたが、とても楽しく時間が経つのが早く感じました。厩舎やドックランなどもあり、散歩をしている犬や乗馬をしている学生を見ました。乗馬を体験出来る珍しい学校だと思いました。

また、研究室見学という貴重な体験をすることが出来ました。寄生虫の研究室では、ダニや、線虫、双口吸虫、ゴキブリ、コオロギなどを調べて研究をしており、この研究室の小林先生は初めてゴキブリの体内に寄生虫がいることを発見したそうです。ゴキブリというのは、人がとても嫌う生き物であり、好んでいる人は少ないと思います。しかし、現在は人口増加などにより食糧危機が懸念されているため、それらを解消するために必要になるかもしれないそうです。小林先生は、ゴキブリが長く生きられるのは体内にいる寄生虫が理由ではないかと考え、現在研究しているそうです。人が嫌うゴキブリではありますが、ゴキブリというのは生きた化石と聞いたことがあります。生きた化石から何かが発見されることは多くあるので、ゴキブリからも何かが発見されるのではないかと思います。

次に、伊藤潤哉教授により、繁殖の研究している研究室の説明をさせていただきました。ヒトの不妊治療や癌治療、遺伝子について研究することができそうです。この研究室では、主に豚やマウスの生殖細胞を利用して研究をしています。動物によって、受精して成長するための体温が異なるそうです。動物の種類に合わせた温度を保ち、成長をさせる専用の機械を見せていただきました。卵子や精子といった生殖細胞を液体窒素で冷凍づけにすることで、半永久的に保存が可能であると知りました。そのため、絶滅した動物でさえも生殖細胞の採取が出来れば復活が可能なのだと知りました。近年マンモスの生殖細胞が発見されたことから、マンモスの復活も可能だそうです。しかし現在は、受精卵を個体に戻すことでしか成長させることが出来ないそうなのです。個体に戻さないと成長が出来ないのであれば、マンモスの復活は不可能なのではないかと疑問に思い質問しました。現在の技術では成長させることは出来ないが、類似した動物（マンモスであれば象）を代替とするなど、今後の研究により問題がクリア出来る可能性があるそうなのです。これらの話を聞いて、私は繁殖について興味を持ちました。絶滅した動物、または今後絶滅が考えられている動物を復活させることが出来ると聞き、異次元のような世界だと思いました。死んだ生き物の復活が可能で世界が近い将来可能になると考えるとすごいことだと思いました。また、私は爬虫類が好きなので爬虫類の繁殖、受精卵の成長などが人とはどう違うのか興味湧きました。研究室とはどういったところなのか、どんなことを研究しているのか普段出来ないような体験や、お話を聞き大学に進学したいと強く感じられるようになりました。

この度はとても貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。私の質問にも丁寧に答えていただきありがとうございました。

3年 H.Kさん

拝啓

盛夏の候 暑さ厳しきおりではございますが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度はお忙しい中、大学見学をさせてくださりありがとうございました。

実際に大学を見学させていただき、動物・自然が身近にあることや、授業の様子、先生と学生の距離が近く仲が良いということなどが分かりました。

また、乾燥野菜、牡蠣、しじみ等を使った研究についてのお話を伺い、お肉の硬さについての研究を実際に見せていただきました。行われているたくさんの研究にすごく興味があり、もっとお話を聞きたいなと思いました。実験の機械を拝見し、お話を伺ったことで、麻布大学では他の大学に比べてより充実した実験や授業が受けられるなと思いました。とても親身に接して下さり麻布大学のことをたくさん知ることができました。この度はとても貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

このような状況の中ではありますが、皆さまのご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

敬具

3年 W.Rさん

本日はご多忙な中、私たちに麻布大学のことや研究室のことを教えてくださりありがとうございました。

初めに、伊藤彰英教授が担当教員である環境分析学研究室の沢山の学生さんが実験・研究している姿を拝見させていただきました。化学分析するための準備する光景を見て、ゴミなどの不純物が入らないように徹底していると思いました。伊藤教授がおっしゃっていた分析装置は、相当少ない量の元素が何十種類も分かるものなので、少しでも不純物が入ってしまうと結果が変わってしまうことから、混入物を入れないことの重要性が分かりました。また、学生と教授との距離が近いことは、研究をするには最高の環境だと思いました。

室長に大学生活で大変だったことについて質問させていただきました。私は勉強が大変だと思っていましたが、実際には分析装置の使い方を覚えることが大変だったと聞いて納得しました。

このコロナ禍の中、たくさんの研究室を見学できたことを本当に嬉しく感じています。